

# Mercury-LAVIS オプション追加編 目次

オプションプログラムの追加時には、プロテクトの更新の後に、最新プログラムにアップデートします。

## プロテクトの更新を おこないます ... 1

- 1 ネット認証ライセンス（占有）の更新 ..... 2
- 2 プロテクト Q&A ..... 3

## Mercury-LAVIS を アップデートします .... 7

- 1 インストール方法を確認します ..... 8
- 2 「スタンドアロン」のアップデート手順 ..... 9
- 3 「サーバークライアント」のアップデート手順 ..... 11
- 4 フリーフォーマットを追加します ..... 16

## FCアカウントでプログラムを更新することもできます

本書では「インストールDVD」を利用したプログラムの更新手順を解説していますが、「FCアカウント」を利用して、最新プログラムに更新することもできます。

※Mercury-LAVIS ご契約中のサービスです。



# セットアップの前に確認してください



## Check

### セットアップ時の権限について

プロテクトおよび各プログラムをセットアップする場合は、Administrators グループに所属しているユーザーや、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。



## Check

### セキュリティソフトによる警告について

お使いのセキュリティソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。警告が表示された場合には、セキュリティソフトなどの常駐プログラムを終了してから、セットアップをおこなってください。



## Check

### データのバックアップをおこなってください

セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。

バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

# プロテクトの更新を おこないます

オプションプログラムの追加購入時や、プログラムのバージョンアップ時には、  
まず「ネット認証ライセンスの更新」をおこないます。

各ページを参照して、ご利用されているプロテクトの更新をおこなってください。

1. ネット認証ライセンス（占有） の更新 ..... 2
2. プロテクト Q&A ..... 3

# 1 ネット認証ライセンス (占有) の更新

「ネット認証ライセンス (占有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

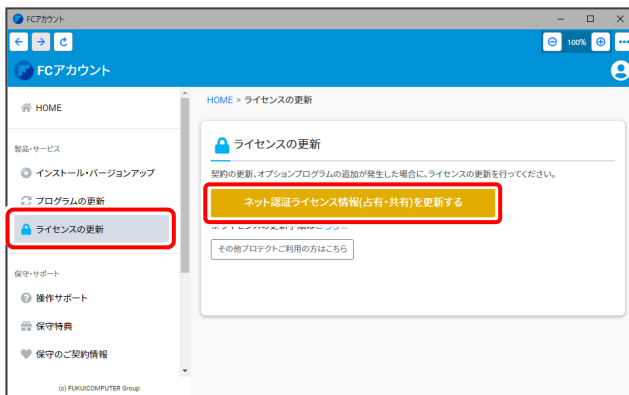
## Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



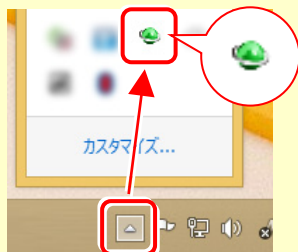
FCアカウントが表示されます。

【ライセンスの更新】の【ネット認証ライセンス情報 (占有・共有) を更新する】をクリックします。



### FCアカウントを使用していない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

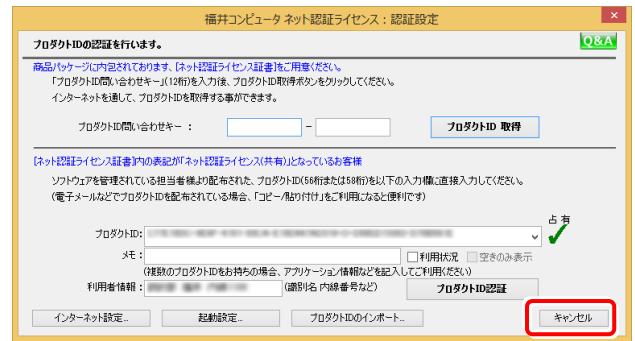


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス：認証設定」画面 (下画面) が表示された場合は

プログラムの起動時にライセンス情報が自動更新されますので、更新の必要はありません。

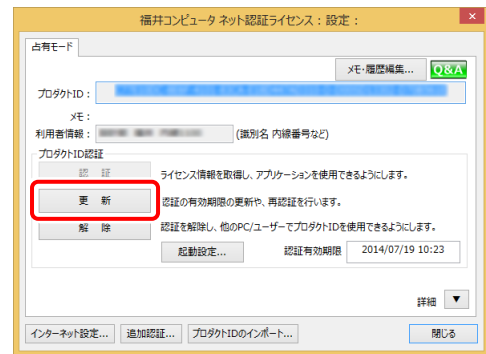
【キャンセル】ボタンを押して画面を閉じてください。



「ネット認証ライセンス：設定」画面 (下画面) が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

【更新】ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

## 2 プロテクト Q&A

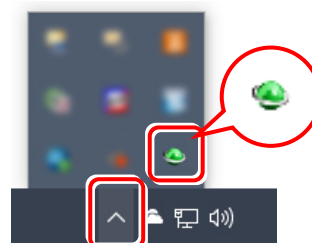
**Q.1** ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、どこかに資料はありますか？

**A.1** ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面から、ネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。  
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能や、お問い合わせのあった内容について記載されています。

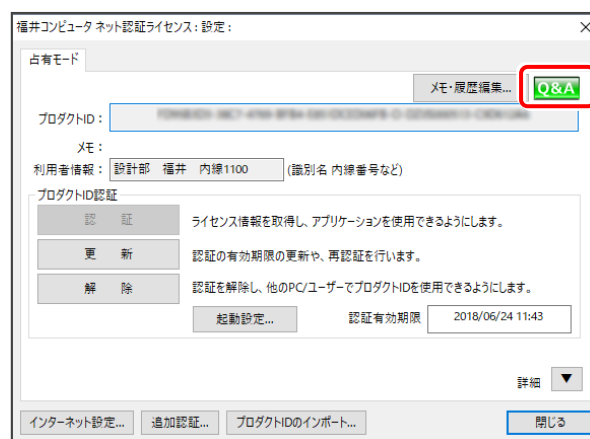
### 開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

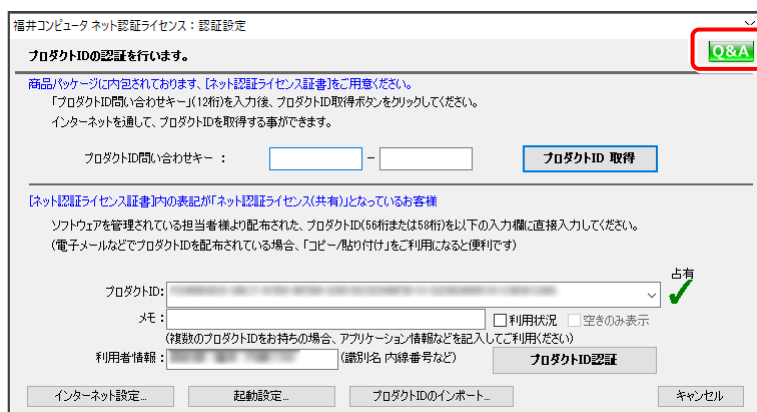


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。  
[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または

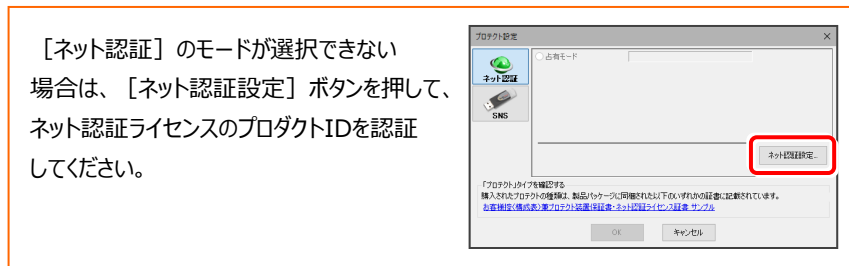
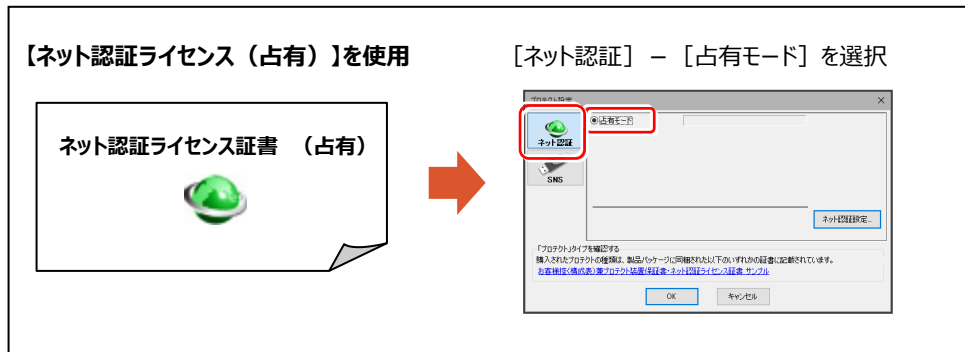


**Q.2**

プログラムの起動時に「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。  
どうすればいいのでしょうか？

**A.2**

お使いのプロテクトを選択し、[OK] ボタンを押してください。



### Q.3

「FCアカウント」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

### A.3

「FCアカウント」では、下記をはじめとした様々な機能がお使いいただけます。

#### ・ 製品のアップデート

CAD製品のアップデートプログラムの提供やライセンスの更新、再セットアップ用ファイルのご提供などにご利用いただけます。

#### ・ 保守サポートサービスのご利用

保守サポートサービス「FCメンバーシップ」のご契約情報確認・各種手続き・ご契約特典などの様々な機能をご利用いただけます。

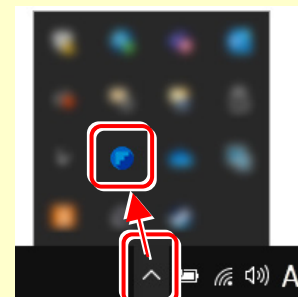
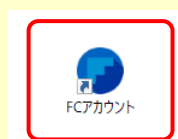


※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

#### 「FCアカウント」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



－ メモ －



# Mercury-LAVIS を アップデートします

オプションプログラムの追加時には、プロジェクトの更新または書き換えの後に、最新プログラムにアップデートします。

各ページを参照して、プログラムのアップデートをおこなってください。

1. インストール方法を確認します ..... 8
2. 「スタンドアロン」のアップデート手順 ..... 9
3. 「サーバークライアント」のアップデート手順 ..... 11
4. フリーフォーマットを追加します ..... 16

# 1 インストール方法を確認します

Mercury-LAVIS のインストール方法には、次の2種類があります。

現在ご使用中のインストール方法に合わせて、プログラムをアップデートしてください。

## ● スタンドアロンでご使用中のお客様

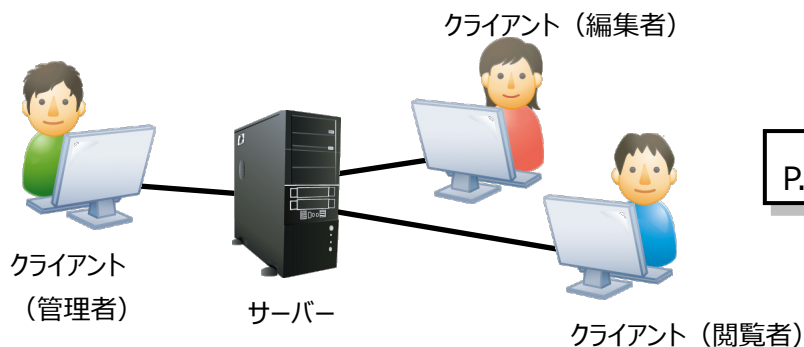
- ・ すべてのファイルを、1台のコンピューターにインストールします。
- ・ 1台のコンピューターで、地籍データを編集します。



P.9へ

## ● サーバークライアントでご使用中のお客様

- ・ 地籍データを、サーバーで管理します。
- ・ 複数のクライアントで、地籍データを編集します。

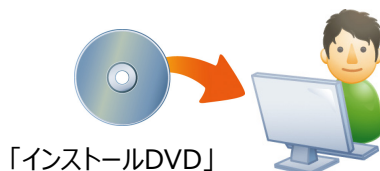


P.11へ

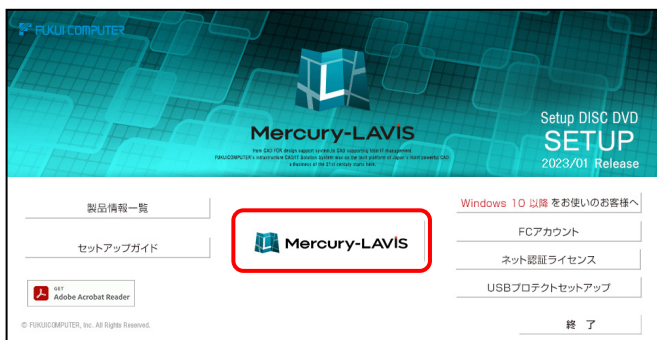
## 2 「スタンドアロン」のアップデート手順

「スタンドアロン」で使用中の Mercury-LAVIS をアップデートします。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。

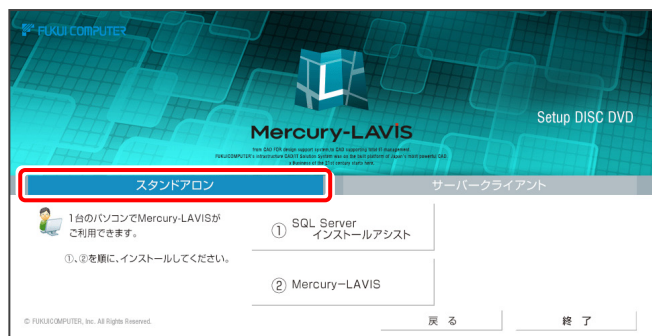


2. セットアップ画面の  
[Mercury-LAVIS] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の  
[Install.exe] を実行してください。

[スタンドアロン] タブを選択します。



[② Mercury-LAVIS] ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

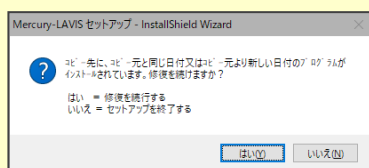
[修復インストール] を選択して、[次へ] を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。  
プログラムのインストールが開始されます。



インストールの途中で「コピー先に、コピー元と同じ日付又は～」というメッセージが表示された場合は、通常は、[いいえ] をクリックして処理を中止します。  
プログラムが正常に動かないなどで修復したい場合は、[はい] をクリックしてインストールを続けます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] を確認してください。



### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる] を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



アップデート時には、最後に  
「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

P.16へ

### 3 「サーバークライアント」のアップデート手順

「サーバークライアント」で使用中の Mercury-LAVIS をアップデートします。

まずサーバーで「Step1 | Mercury-LAVIS サーバーのアップデート」をおこないます。

次にクライアントで「Step2 | Mercury-LAVIS クライアントのアップデート」をおこないます。

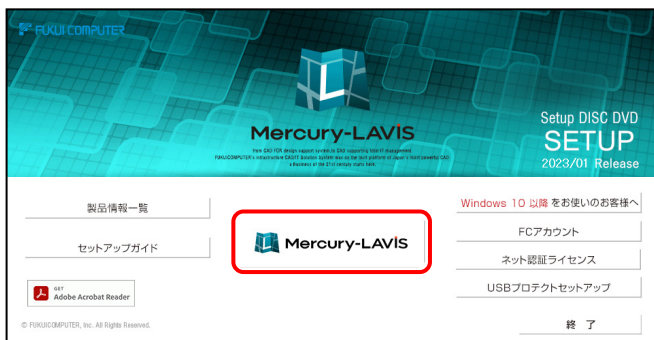
## まず、サーバーをアップデートします

### Step1 | Mercury-LAVIS サーバーのアップデート

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。

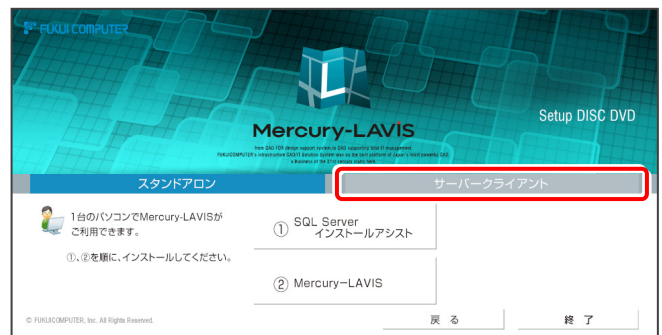


2. セットアップ画面の  
[Mercury-LAVIS] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の  
[Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント] タブを選択します。



[② Mercury-LAVIS サーバーインストール] ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

## 2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、  
[次へ] ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します] をチェックして、  
[次へ] を押します。



[修復インストール] を選択して、[次へ] を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの  
誤認識について]を確認します。



(次ページへ続きます)

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



サーバーのアップデートは完了です。

続けてクライアントコンピューターのアップデートをおこないます。

### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

# 次に、クライアントをアップデートします

## Step2 | Mercury-LAVIS

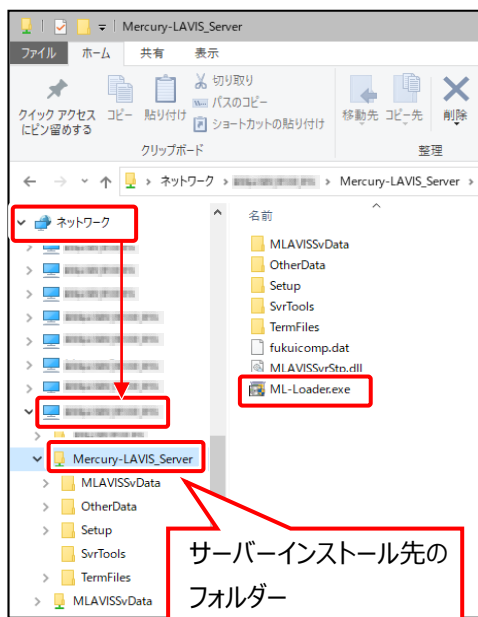
### クライアントのアップデート

#### 1. クライアントで、エクスプローラーを開きます。

「ネットワーク」をクリックしてサーバーを参照し、サーバーインストール先のフォルダーにある、「ML-Loader.exe」を実行します。

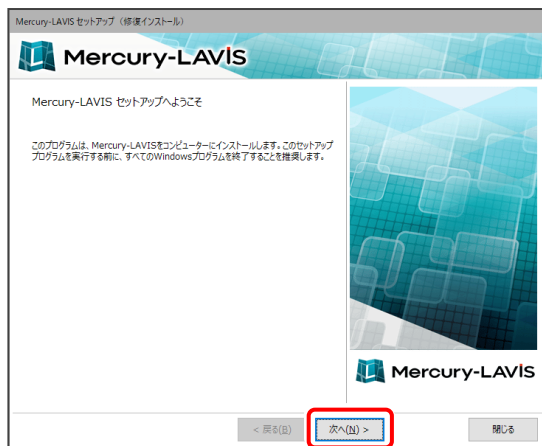


「クライアント」



サーバーインストール先のフォルダー

#### 2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[修復インストール] を選択して、[次へ] を押します。



インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ] ボタンを押します。



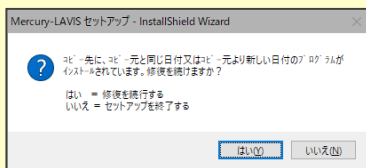
(次ページへ続きます)



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。  
プログラムのインストールが開始されます。



インストールの途中で「コピー先に、コピー元と同じ日付又は～」というメッセージが表示された場合は、通常は、「いいえ」をクリックして処理を中止します。  
プログラムが正常に動かないなどで修復したい場合は、「はい」をクリックしてインストールを続けます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

アップデート時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

次ページへ

# 4 フリーフォーマットを追加します

プログラムのアップデート時には、計算書・求積表フォーマットが追加されている場合があります。

**最後に、必ずフリーフォーマットの追加を実行してください。**

※ サーバークライアントの場合は、いずれか 1 台のクライアントで「フリーフォーマットの追加」をおこなえばOKです。  
このときサーバーにフリーフォーマットが追加されます。

## 1. Windows11 の場合

- [スタート] ボタン - 「すべてのアプリ」
- [FukuiComputerApplication]

## Windows10 の場合

- [スタート] ボタン
- [FukuiComputerApplication]

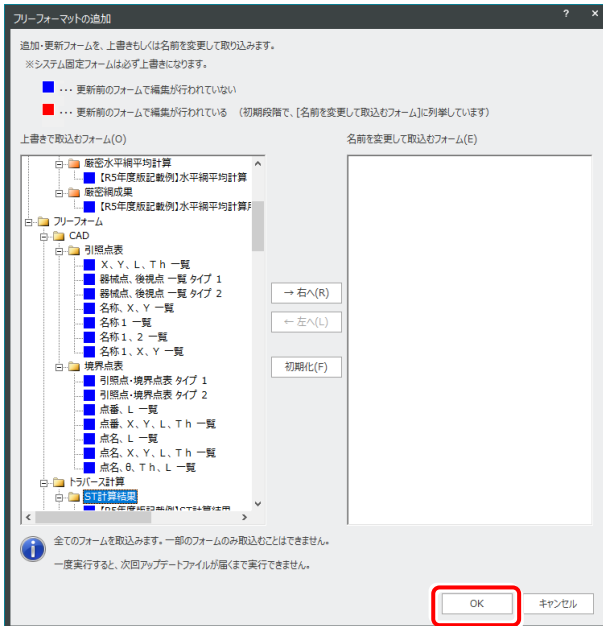
から

[Mercury-LAVIS フリーフォーマット追加]

を実行して下さい。

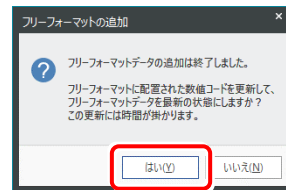
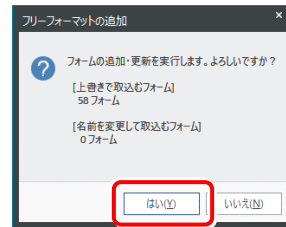
追加の必要が無い場合は、「既にフリーフォーマットデータは追加されています」と表示されます。

## 2. 追加フォームがある場合は、[フリーフォームの追加]ダイアログが表示されます。内容を確認して、[OK] をクリックします。

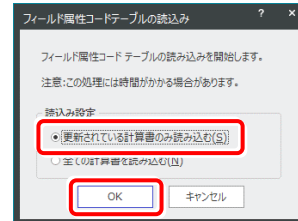


※ ダイアログの項目については、右上の [?] ボタンで表示されるヘルプを参照してください。

## 3. 表示されるメッセージにしたがって、処理を進めます。

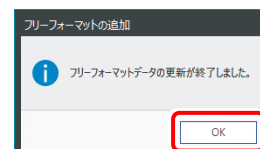


[更新されている計算書のみ読み込む] を選択して [OK] をクリックします。



処理時間は、環境によって異なりますが、1時間ぐらいかかる場合もあります。

その間、コンピューターのシャットダウン等は決しておこなわないでください。



以上で Mercury-LAVIS のアップデートは **完了** です。